

【会議記録－令和5年12月1日－20231201－6－議会改革検討会議】

1 開催日時 令和5年12月1日（金）10時30分～10時46分

2 開催場所 議会中会議室

3 出席者

(1) 出席議員

座長 あらい 絹世

委員 山本 哲、芥川 薫、ます 晴太郎、米村 和彦、菅原 あきひと
佐藤 けいすけ、野内 みつえ、鈴木 ひでし、添田 勝

(2) 議会局出席者

局長 浦邊 哲、副局長兼総務課長 高瀬 正明

管理担当課長兼総務課副課長 佐藤 徹、経理課長 奥澤 陽一

参事兼議事課長 井上 実、政策調査課長 林 弘幸

4 議事

議会のデジタル化について

(1) 議会に係る手続きのオンライン化の検討について

はじめに、前回各会派持ち帰りの上、検討することとした「議会に係る手続きのオンライン化の検討」について、各会派の検討結果を確認した。

(意見・質疑概要)

(山本委員)

自民党としての意見は次のとおり

- ・知事から議会に提出される議案等については、オンライン化する方針とするが、データでも見やすい工夫を施すことを条件とすること。ただし、オンライン化した場合でも、紙媒体での配布を希望する議員については、個別に対応すること。
- ・議員が連名で議長に提出する議案等についても、オンライン化する方針とするが、複数名の本人確認の方法の整理を条件とすること。
- ・辞表の提出については、議員の身分に係る重要な手続きのため、従前どおり書面での提出とすること。

(菅原委員)

意見の前に1点確認したい。辞表の提出について、現状の提出方法と過去の運用方法について確認したい。

(管理担当課長)

会議規則の規程に基づき、原則書面で提出いただいている。ただし、本人が持参できない場合、例外的に個別対応した事例がある。

(米村委員)

立憲民主党・かながわクラブとしての意見は次のとおり

- ・保有個人情報に係る手続については、資料のとおり、保留のままでもよいと考える。
- ・知事から議会に提出される議案等については、オンライン化の方針で進めてよいと考えるが、やはりデータの見やすさ等しっかり対応していただきたい。
- ・議員が連名で議長に提出する議案等についても、オンライン化の方針で進めていただきたい。
- ・辞表については、やはり議員の身分に係る重要な手続きのため、従前どおり書面での提出とするが、先ほど確認したとおり、本人が持参できない場合等には柔軟に個別対応をし

ていただきたい。

・資産等報告書に係る手続については、国会等の状況を踏まえてということで、現状では保留としてよいと考える。

(佐藤委員)

かながわ未来としての意見は次のとおり

- ・知事から議会に提出される議案等については、データでも見やすい工夫を施されれば、オンライン化の方針で進めてよいのではないかと考える。
- ・議員が連名で議長に提出する議案等についても、オンライン化の方針で進めてよいのではないかと考える。
- ・辞表については、やはり議員の身分に係る重要な手続きのため、オンライン化では軽いのではないかと考える。

(野内委員)

立憲民主党としての意見は次のとおり

- ・自民党等の意見と同様、必要な工夫等行った上でオンライン化に向けて進めていただきたい。
- ・辞表については、議員の身分の重みを考え、従前どおり書面での提出とすること。

(鈴木委員)

公明党としての意見は次のとおり

- ・オンライン化の方針はここまで出たとおりでよいと考える。
- ・辞表について、オンライン化とは別に、例外的な個別対応について、どこかで協議したほうがよいのではないかと考える。

(添田委員)

日本維新の会としての意見は次のとおり

- ・オンライン化の方針はここまで出たとおりでよいと考える。
- ・辞表については、基本的には書面での提出とし、本人が持参できない場合等には例外的に個別対応をしていただきたい。

各手続のオンライン化の方針については、各党派からの意見はあったが、方向性の一致は得られたため、意見を踏まえて報告書にまとめることとなった。報告書については、座長が作成し、次回の当会議で提案されることとなった。

(2) やさしいデジタル化の実現に向けた方策の検討について

やさしいデジタル化の実現に向けた方策の検討について、資料により、議会局から調査結果等が説明された。

(質疑概要)

(ます委員)

費用面について、各システムで開きがあるのか。

(管理担当課長)

料金体系が異なるため、利用時間等によっては高額となる可能性はある。

(ます委員)

要望として、技術は日に日により良いものが開発されているので、今回挙げられたものに限らず、より良いものを導入できるよう検討していただきたい。

音声文字化システムについて、令和6年第1回定例会中に試行した上で、より適切なソフトウェアの導入に向けて検討を進めていくこととした。

今回は12月6日に開催することとなった。

以上